



TITLE:

目次・研究費・平成23年度博士論文・平成23年度修士論文・平成23年度卒業論文・執筆者紹介・投稿規程

AUTHOR(S):

CITATION:

目次・研究費・平成23年度博士論文・平成23年度修士論文・平成23年度卒業論文・執筆者紹介・投稿規程. 京都大学大学院教育学研究科紀要 2012, 58

ISSUE DATE:

2012-04-27

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/155601>

RIGHT:

京都大学大学院 教育学研究科紀要 第58号

目 次

論 文：

トランスナショナル高等教育の展開……………杉本 均 / 中島 悠介	1
－中東諸国を中心として－	
インドと中国における大学入学者選抜制度……………南部 広孝 / 渡辺 雅幸	19
－現状と改革動向の比較的分析－	
老年世代の「私と子ども」関係イメージ……………やまだようこ / 村上 幸平	45
－過去、現在、未来のビジュアル・ナラティヴ－	
Economics, psychology, and happiness ……………子安 増生	71
韓国における「学業成就度評価」の検討……………趙 卿我	83
－学力向上教育政策における意義とは－	
学校改善モデルの有効性に係わる科学的基準に関する検討……………桐村 豪文	101
－米国の Comprehensive School Reform プログラムに着眼して－	
公立高等学校における学校教育費の私的負担に関する学校間格差……………江上 直樹	115
－学校徴収金等についての大阪府立高等学校宛質問紙調査の結果から－	
文革後中国の教育政策における育成すべき人間像と育成方法の変遷……………李 霞	129
ベルーにおける教育の地方分権化の過程と課題……………工藤 瞳	143
米国における保護者の学校参加に関する理論の一考察……………田村 徳子	155
－Gordon と Epstein に着目して－	
縁起の思想から見たケアの関係性……………坂井 祐円	169
「沈黙の声」にみる身体的志向性 ……………奥井 遼	183
－わざ研究へのメルロ＝ポンティ現象学からの接近－	
笑いにおける受動的な関与についての心理学的考察……………谷垣 紀子	195
－天岩戸神話における笑いの検討を通して－	
「居場所のなさ」についての研究 ……………中藤 信哉	209
病いにおける「他者性」と「同一性」……………田中 崇恵	221
－超越と変容へのダイナミクス－	
心理臨床面接における間主観性……………里見 聡	233
－スキュグル技法の調査事例を通して－	
個人療法と集団療法を併用した心理療法的アプローチの可能性……………永山 智之	247
－対人恐怖と発達障害を中心に－	
みずからの病の名を知ること、つけること……………井芹 聖文	261
－自己診断を手がかりに－	

関係の病としての「ひきこもり」……………	森崎 志麻	275
－ひきこもり当事者本の分析を通して－		
海岸救援者の外傷性ストレスにおける縦断的検討……………	堀口 真宏	289
アジールとしての適応指導教室……………	菱田 一仁	301
聴覚障害者への心理臨床の一考察……………	田中久美子	315
知的障がい児をもつ母親の内的変容……………	加藤のぞみ	327
－母子関係に着目して－		
末期患者と“共にいる”ことについての心理臨床学的考察……………	高橋紗也子	341
元禄期における「日用」言説の展開……………	李 芝映	355
－貝原益軒の伊藤仁斎批判－		
行政・教育機関との連携における児童養護施設職員の語り……………	高橋菜穂子	369
－自らの役割についての意味づけと実践上の葛藤－		
「経験の伝承」における生涯発達の視点からの先行研究の検討……………	竹内 一真	383
－generativity 研究に焦点を当てて－		
チャールズ・ゴドフレーの数学教育論……………	大下 卓司	397
－イギリスにおける数学教育改造運動の展開－		
アメリカ合衆国における学習障害児診断に関する一考察……………	羽山 裕子	411
－ディスクレパンシー・アプローチに焦点を当てて－		
青少年音楽運動における F. イェーデの音楽教育論……………	小山 英恵	425
－Th. W. アドルノによる批判の検討をとおして－		
表情表出による情動調整の日常経験に関する調査……………	野口 素子	439
Y. エンゲストロームの形成的介入の方法論……………	河井 亨	453
－教育実践と調査・研究の形成的関係に向けて－		

資 料：

研究費……………	467
プロジェクト活動	
京都大学グローバルCOEプログラム「心が活きる教育のための国際的拠点」……………	471
京都大学大学院教育学研究科 教育実践コラボレーション・センター……………	477
博士論文……………	481
修士論文……………	483
卒業論文……………	485
執筆者一覧……………	487
京都大学大学院教育学研究科紀要投稿規程……………	488

Development of Transnational Higher Education in the Middle East Countries	SUGIMOTO Hitoshi and NAKAJIMA Yusuke	1
Comparative Analysis of the University Entrance Examination Systems in India and China	NANBU Hirotaka and WATANABE Masayuki	19
Images of the Relationships between Elderly Persons and Their Children: Visual Narratives of Past, Present, and Future	YAMADA Yoko and MURAKAMI Kohei	45
Economics, Psychology, and Happiness	KOYASU Masuo	71
Achievement Test in Korea: Its Implication to the Education Policy on Academic Development	JO Gyeonga	83
What Enables US to Say What Works? The Methodology Used to Evaluate Models' Effectiveness: Focusing on the Models Used in the Comprehensive School Reform Program in the USA	KIRIMURA Takafumi	101
Disparities between Schools in School Levies: Results of a Questionnaire Survey among High Schools in Osaka	EGAMI Naoki	115
A Study of the Shift of Education Purposes and Methods in China's Educational Policy after the Cultural Revolution	LI Xia	129
Process and Difficulties of the Decentralization of Education in Peru	KUDO Hitomi	143
A Study of Theories of Parental Involvement in School in the United States: Comparison of Gordon and Epstein	TAMURA Noriko	155
The Relationship of Care from the viewpoint of Pratītyasamutpāda Thought	SAKAI Yuen	169
"L' intentionnalité Corporelle" in Language: Studies of Body-Knowledge through the Phenomenology of Merleau-Ponty	OKUI Haruka	183
A Psychological Consideration on Passive Commitment in Laughter: through Examination of Laughter in Amano-Iwato Myth	TANIGAKI Noriko	195
A Study of the Feeling that One does not have " <i>Ibasho</i> " (A Place where One can be)	NAKAFUJI Shinya	209

"Otherness" and "Identity" in Illness: Dynamics of Transcendence and Transformation	TANAKA Takae	221
Intersubjectivity of Psychological Sessions: Through Structural Interviews Using the Squiggle Game	SATOMI Akira	233
The Possibility of Concurrent (Combined and Conjoint) Individual and Group Psychotherapy : A Review of Anthropophobia and Developmental Disorder	NAGAYAMA Tomoyuki	247
Knowing and Giving an Illness a Name: Analyzing a Self-diagnosis	ISERI Masafumi	261
" <i>Hikikomori</i> " as Illness of Relationship: Through Analysis on Autobiographical Works by " <i>Hikikomori</i> "	MORISAKI Shima	275
Traumatic Stress in Japanese Lifesavers	HORIGUCHI Masahiro	289
Adaptation Class as an Asylum	HISHIDA Kazuto	301
One Consideration of Clinical Psychotherapy in the Hearing Impaired	TANAKA Kumiko	315
Internal Transformation in Mothers of Children with Mental Retardation: Focusing on Mother-child Relationship	KATO Nozomi	327
Psychological Study of "Be There" with the Terminal Ill	TAKAHASHI Sayako	341
The Development of <i>Nichiyō</i> Discourse in the Genroku Period: Kaibara Ekiken's Criticism of Itō Jinsai	Lee Ji Young	355
Narratives of Residential Child Care Workers' Concerning Cooperative Relationships with Children's Welfare Centers and Schools: Interpretations of Their Roles and Actual Conflict in Their Practices	TAKAHASHI Nahoko	369
Investigation of Previous Studies from the Viewpoint of Life-span Developmental Perspective to Teaching Experience: Focusing on Generativity	TAKEUCHI Kazuma	383
A Study of Charles Godfrey's Theory on Teaching Mathematics: The Development of Reform in Mathematics Teaching	OSHITA Takuji	397

A Study on the Diagnosis of Learning Disabilities in the USA Focusing on Discrepancy Approach HAYAMA Yuko	411
F.Jöde's Music Pedagogy for the Youth Music Movement: An Examination of Th.W.Adorno's Criticism KOYAMA Hanae	425
Survey of Daily Experiences of Suppression and Exaggeration of Facial Expressions NOGUCHI Motoko	439
Reconsidering Y. Engeström's Methodology of Formative Intervention from the Perspective of the Formative Relationship between Practice and Research KAWAI Toru	453

研 究 費

研 究 費

年月日	課 題 名	氏名
2011.4.1	新学術領域研究 顔表情の認知プロセスに及ぼす遺伝子・環境の相互作用機序に関する認知科学的 研究	野村 理朗
2011.4.1	基盤研究（A） 21 世紀市民のための高次リテラシーと批判的思考力のアセスメントと育成	楠見 孝
2011.4.1	基盤研究（A） 多文化横断ナラティブ・フィールドワークによる臨床支援と対話教育法の開発	山田 洋子
2011.4.1	基盤研究（B） ソフト・パワー構築に向けたメディア文化政策の国際比較研究	佐藤 卓己
2011.4.1	基盤研究（B） E. FORUM カリキュラム設計データベースを活用したスタンダードの開発	矢野 智司
2011.4.1	基盤研究（B） 「伝承・習い事」文化における継承と生涯学習の現代的課題に関する日中韓 比較研究	渡邊 洋子
2011.4.1	基盤研究（B） 教育資源調達手法総動員による教育組織パフォーマンス向上施策の学際的研究	高見 茂
2011.4.1	基盤研究（B） 辺境における空間的・社会的移動と教育－奄美諸島の経験を基軸とした比較 史的研究－	駒込 武
2011.4.1	基盤研究（B） 「女性文化人」の社会的形成に関する歴史社会学的研究	稲垣 恭子
2011.4.1	基盤研究（B） 精神力動的心理療法家のトレーニングに関する開発的研究－国際比較調査を 通して	松木 邦裕
2011.4.1	基盤研究（C） 心理臨床場面における対話の構造	桑原 知子
2011.4.1	基盤研究（C） 批判的図書館史研究の構築	川崎 良孝
2011.4.1	基盤研究（C） 1990 年代以降の学歴と初期キャリアの動態に関する比較研究	岩井 八郎
2011.4.1	基盤研究（C） 音韻的作動記憶を支える意味記憶とプロソディの相互作用	齊藤 智
2011.4.1	基盤研究（C） 「活用」を促進する評価と授業の探究	田中 耕治
2011.4.1	基盤研究（C） オールナティヴ教育における「稽古」の思想と「宗教性・精神性」の教育 人間学的解明	西平 直

2011.4.1	基盤研究 (C) 教育空間の変容と自己形成の相互関係についての基礎的研究	前平 泰志
2011.4.1	基盤研究 (C) ドイツにおける大学自治観の形成と現代における大学改革との連関に関する研究	金子 勉
2011.4.1	基盤研究 (C) 東アジア諸国・地域における大学院入学者選抜方法の比較研究	南部 広孝
2011.4.1	基盤研究 (C) 衝動的反応の制御メカニズムの個人差の解明に関する認知科学的研究	野村 理朗
2011.4.1	基盤研究 (C) セラピストの発話に関する言語論的分析と訓練モデルの構築	大山 泰宏
2011.4.1	基盤研究 (C) 「褒め方・叱り方のタクト」－教育力育成と信頼の場の創出に関する実証研究	鈴木 晶子
2011.4.1	基盤研究 (C) 新教育運動期における学校の「アジール」をめぐる教師の技法に関する比較史的研究	山名 淳
2011.4.1	基盤研究 (C) ＜他＞文化理解のための政治教育：アメリカ哲学をめぐる文化横断的対話研究	齋藤 直子
2011.4.1	基盤研究 (C) 途上国の中等学校等の多様化と正規性・非正規性に関する国際比較研究	杉本 均
2011.4.1	挑戦的萌芽的研究 「心の理論」の獲得とプラグマティックな言語理解の発達	子安 増生
2011.4.1	挑戦的萌芽的研究 女性の教養と理想的女性像に関する成人教育学の実践研究－教育学専攻者を中心に－	稲垣 恭子
2011.4.1	挑戦的萌芽的研究 三項関係ナラティブ・ミーディアムの開発－糖尿病患者と医師の支援と教育	山田 洋子
2011.4.1	挑戦的萌芽的研究 「NHK青年の主張」における青年文化のメディア社会学	佐藤 卓己
2011.4.1	挑戦的萌芽的研究 専門職教育と専門職性に関する異業種間比較研究－成人教育学の観点から	渡邊 洋子
2011.4.1	若手研究 (B) 科学者の探究手法を体験することで科学的思考を学ぶカリキュラムの検討	中池 竜一
2011.4.1	若手研究 (B) パフォーマンス課題の効果的活用に関する国際比較調査	西岡加名恵
2011.4.1	若手研究 (B) 「現実 - 潜在」関係に関する思想史的研究－ホリスティックな知の再検討	小野 文生
2011.4.1	特別研究員奨励費 学習のメディアとしての物語－談話焦点と物語構造に基づく最適学習条件の探索	井関 龍太

研 究 費

2011.4.1	特別研究員奨励費	猪原 敬介
2011.4.1	文章理解における状況モデルと実世界との視空間的類似性に関する検討	
2011.4.1	特別研究員奨励費	唐牛 祐輔
2011.4.1	ステレオタイプ脅威の生起要因と低減方法の検討	
2011.4.1	特別研究員奨励費	西山 直子
2011.4.1	「祖母－母－娘」三代の関係性－イメージ画とインタビューを基に	
2011.4.1	特別研究員奨励費	長崎 励朗
2011.4.1	戦後音楽運動における公共性の諸相－戦後民主主義理念再考のために	
2011.4.1	特別研究員奨励費	細尾 萌子
2011.4.1	フランスのバカロレア試験における評価結果の活用方法	
2011.4.1	特別研究員奨励費	高橋菜穂子
2011.4.1	児童養護施設における協働的支援モデルの構築とアクションリサーチ	
2011.4.1	特別研究員奨励費	工藤 瞳
2011.4.1	ペルーにおける児童労働擁護の思想的背景	
2011.4.1	特別研究員奨励費	栗田 季佳
2011.4.1	障害者に対する潜在的態度による偏見の低減に向けた教育的介入	
2011.4.1	特別研究員奨励費	小山 英恵
2011.4.1	20 世紀ドイツにおける音楽教育方法論についての研究－ミューズ教育に着目して－	
2011.4.1	特別研究員奨励費	馬場 智子
2011.4.1	タイにおける人権教育についてのケイパビリティ・アプローチによる分析	
2011.4.1	特別研究員奨励費	洲上皓一郎
2011.4.1	近世儒者の教育社会史的分析－知的ネットワークと社会構造－	
2011.4.1	特別研究員奨励費	本所 恵
2011.4.1	生涯学習社会スウェーデンにおける高校教育カリキュラムの教育方法学的検討	
2011.4.1	特別研究員奨励費	桐村 豪文
2011.4.1	教育実践に対する「語り」の限界に関する研究－NCLB法と京都市の事例から－	
2011.4.1	特別研究員奨励費	塩原 佳典
2011.4.1	近世の地域社会における知・情報の流通と伝達メディア	
2011.4.1	特別研究員奨励費	藤野 真拳
2011.4.1	近代日本の徳育論に関する構造的な研究	
2011.4.1	特別研究員奨励費	福山 寛志
2011.4.1	ヒト乳児における行為と情動の共有理解およびコミュニケーションに関する発達研究	
2011.4.1	特別研究員奨励費	三野 和恵
2011.4.1	日本統治下台湾のイギリス人宣教師による伝道事業－不寛容性克服の契機に着目して	
2011.4.1	特別研究員奨励費	グエンティ ホンハウ
2011.4.1	事例と理論をつなぐケアリング研究－ヘブライ的存在論の地平から	

2011.4.1	特別研究員奨励費 現代日本社会におけるオルタナティブ教育に関する比較社会学的研究	森田 次朗
2011.4.1	特別研究員奨励費 言語の模倣と行為の模倣の共通性を探る実験心理学的・神経科学的検討	中山 真孝
2011.4.1	特別研究員奨励費 在日朝鮮人女性の識字をめぐる構造－1970年代以降の夜間中学に着目して－	山根 実紀
2011.4.1	特別研究員奨励費 地理教育の人間形成論的意義の解明－カントの地理教育思想を手がかりに－	広瀬 悠三
2011.4.1	特別研究員奨励費 ヴィクトリア期イギリスの職業女性の学習／学習支援活動に関する成人教育学的研究	柴原真知子
2011.4.1	特別研究員奨励費 近代日本における The Japan Times のメディア論的考察	松永 智子
2011.4.1	特別研究員奨励費 文章読解におけるワーキングメモリの働きを視線運動分析で探る	田中 哲平
2011.4.1	特別研究員奨励費 満洲電信電話株式会社における放送文化政策と総動員体制	白戸健一郎

平成23年度博士論文

平成23年度博士論文（平成23年3月から平成24年3月までの授与者）

（課程修了によるもの）

氏 名	論 文 題 目
清 水 亜紀子	「自明性の揺らぎ」に関する心理臨床学研究
藤 井 康 子	1920年代台湾における中等・高等教育と地域社会
河 崎 美 保	複数解法提示による算数の学習促進効果に関する研究
山 本 喜 晴	「境界」としての身体に関する心理臨床学的研究
八 田 幸 恵	米国における教師教育論の到達点と課題 ーリー・ショーマンにおける教師評価の枠組みの展開に焦点を当ててー
遠藤（本所）恵	スウェーデンの総合制高校における教育課程改革 ープログラム制の成立過程ー
常 深 浩 平	物語理解過程における知覚的処理 ー自伝的記憶に基づく検討ー
樋 浦 郷 子	植民地期朝鮮における神社と学校
長 崎 励 朗	労音運動における教養とキッチュの文化社会学
森 本 洋 介	メディア・リテラシー教育における「批判的」な思考力の育成に関する研究： カナダ・オンタリオ州の中等学校を事例にして
猪 原 敬 介	言語理解における知識に基づく推論：潜在意味解析による検討
木 村 裕	オーストラリアのグローバル教育の理論と実践 ー開発教育研究の継承と新たな展開ー
項 純	中国における教育評価改革
木 戸 彩 恵	化粧行為のナラティブ分析 ー社会・文化的文脈における関係性をめぐってー
山 本 和 行	台湾における植民地教育制度の形成 ー国家教育社を媒介とする「内地」との連関に着目してー
井 上 嘉 孝	異形イメージに関する心理臨床学的研究 ーひとつの夢を理解する試みー
VAN STEENPAAL Niels	近世中期における「孝子顕彰」の研究 ー「道徳文化」史の構想ー

（論文提出によるもの）

氏 名	論 文 題 目
壁 屋 康 洋	医療観察法医療における心理臨床
薬師院 はるみ	名古屋市の図書館設置計画に関する歴史的再検討 ー1区1館計画の意義と功罪ー

山 村 滋	イギリスにおける学校選択制度の研究
森 田 裕 之	ドゥルーズ＝ガタリのシステム論の教育学的再構築 ー生成と流動の教育学のためにー
相庭（渡邊）	女性専門職教育の源流
洋子	ー吉岡彌生の「女医」養成論の生涯教育学的研究ー

平成 23 年 度 修 士 論 文

氏 名	論 文 題 目
有 田 菜 穂	自閉症スペクトラム障害児における発話知覚時の視聴覚情報処理
石 田 彩 夏	対面状況が聞き手の情動経験に及ぼす影響
岡 田 光 恵	地域文化活動における学びの可能性と課題 —「子どものための音楽会」の事例の検討から—
河 口 信 二	中学校社会科における学力保障に関する一考察 —加藤文三実践と安井俊夫実践の検討を通して—
谷 口 智 恵	「図書館の自由に関する宣言」1954年の成立とその過程
古 見 文 一	ロールプレイがマインドリーディングに及ぼす影響の発達的研究
三 木 恵里子	儒者・皆川淇園の漢文教育法—『習文録』を中心に—
四 方 康 子	江戸時代の「手習法」—貝原益軒を中心に
内 海 健 太	展望的記憶における抑制メカニズムに関する検討： 検索経験パラダイムを用いて
岡 田 安 功	社会的影響力が情報判断に及ぼす効果
荻 原 祐 二	日本における「個人主義」が幸福感に及ぼす影響：対人関係からの検討
奥 村 好 美	オランダにおける学校評価に関する一考察 —ダルトン・プランに焦点をあてて—
後 藤 崇 志	自己制御の処理過程：評価・抑制・制御資源の関連性
塩 原 知 広	戦後日本における教師=専門職論の再検討 —学校現業職員と教師の関係に着目して—
杉 本 匡 史	空間メンタルモデルの構築・想起： ルートパースペクティブにおける連続性の効果
関 口 洋 平	変革期ベトナムにおける高等教育ガバナンスの変容 —ソビエト・モデルからの脱却過程として—
福 井 佑 介	図書館の倫理的価値の展開と限界 —価値の対立における倫理的枠組み—
山 口 記 世	地域に関わることをめぐる学びの様相 —学校と地域の協働を手がかりとして—
山 本 はるか	キャサリン・スノーのリーディング教育論に関する検討
吉 岡 大	法曹養成制度における大学院教育 —専門職集団の視座に立つ検討—
銭 龍 虎	非言語コミュニケーションにおける日中比較 —ジェスチャー及び対人距離に関する検討
宋 佳	伝統芸能の継承形態に関する生涯学習的考察 —京劇「全盛期」の創作活動と劇作家の役割から—
郑 谷 心	葉聖陶の国語教育改革論に関する一考察 —国民政府成立期に焦点をあてて—
中 村 仁 志	1970年代の日本におけるマナーのインフォーマル化 —塩月弥栄子『冠婚葬祭入門』の分析より—

濱 田 覚	「完成せる精神」の認識過程 —後期シェリングの展相論を手掛かりに—
福 井 夕希子	問いの性質 —西谷啓治の問う「宗教とは何か」
木 村 智 草	中学生の夢に関する一考察 —他者性という観点から—
小 出 文 香	女性性の内的受容について
白 木 絵美子	<からだ>についての表現 —白身体図への彩色を手がかりに—
時 岡 良 太	「自分がない」という言葉が表すもの
土 井 奈緒美	自伝的記憶における最早期記憶の位置づけに関する研究
中 丸 創	「収束点なき会話」の教育的意義 —後期ウィトゲンシュタインの言語ゲーム論を手がかりに—
堀 川 聡 司	抑うつメタサイコロジー —昇華理論による理解の試み—
朝 岡 翔	死にゆく存在としての生と教育 リクルールの記憶に関する論究を手がかりに
神 代 末 人	スクールカウンセラーと治療構造 —スクールカウンセラーの語りの検討から—
朱 燁	言語の限界と他者 —デリダにおける「知」と「信仰」について
中 川 みづ穂	重要他者に対する強迫的な確認について —相手の思いを確認する心のありよう—

平成 23 年 度 卒 業 論 文

氏 名	論 文 題 目
池 田 優 希	自閉症スペクトラム障害児における他者への援助行動の特徴
伊 藤 賢	大正期における教育測定運動の導入と展開 ―檜崎浅太郎の所論に注目して―
大 石 梨 菜	和辻哲郎の『倫理学』における他者
大 谷 友 樹	パウロ・フレイレの識字教育に関する一考察
小 田 仁 美	職業選択のプロセス ―教員志望者へのインタビュー―
新 屋 裕 太	早産児の泣きの音響解析：満期産新生児との比較から
須 藤 賢	「効果のある学校」に関する一考察 ―志水宏吉の所論に焦点をあてて―
中 森 真 希	希望概念の弁証法的解釈 ―ブロッホ『希望の原理』に対する批判的考察―
森 脇 愛 理	エマニュエル・レヴィナスにおける超越 ―〈顔〉をめぐる考察を通して―
山 本 亜 依	擬態語「スイスイ」「ズイズイ」のイメージビジュアル KJ 法より―
竹 田 求 志	運動イメージ能力と模倣能力の関係性
土 井 将 人	「自己実現」および「自己超越」における「主体」の位置について ―A. H. マズローと V. E. フランクルの説に即して―
米 田 彩 子	ナラティヴアプローチによる失恋歌の歌詞のテキスト分析
門 松 昌 吾	死の不安喚起が対人認知に与える影響 ―原発事故の観点から―
菅 野 隼 人	音声とのやりとりにおいて生起する共感性の検討
木 村 大 樹	箱庭療法の見守り手の体験の質的研究：臨床家と非臨床家の違いから
児 玉 夏 枝	青年期の現在家族が未来家族イメージに与える影響について ―動的家族画，面接を用いて―
柴 崎 智 子	現代青年の依存観についての一考察 ―質的側面から―
菅 原 菜 月	日常的選択の後悔 ―選ばなかったもう一方に惹かれる心理―
鈴 木 瑠 璃	「居場所」から捉える青年期における自我同一性の変容
田 附 紘 平	アタッチメントスタイルによる心理臨床場面の観察の差異について
田 中 満 陽	内集団成員の大学ステレオタイプに関する認知的不協和 ―外集団他者との親密度の影響―
千 葉 友里香	箱庭を言葉にすることにおける作り手の体験 ―イメージの変容を中心に―
彦 田 知 美	中高生の非行傾向と父母イメージに関する研究 ―TAT および家・家族象徴描画法を手がかりとして―
日 和 渉	大学生の意欲低下パターンと性格特性の関連
松 波 美 里	前青年期における「哲学的な思考」についての一考察 ―chumship のもつ心理的保護の役割に着目して―
安 田 帆 那	対話場面における話し手の内的体験 ―関係性のイメージに着目して―
梶 村 昇 吾	魅力的な異性顔の視覚提示予期が認知制御方略に及ぼす影響に関する研究
水 野 綾 香	信頼感が罪悪感の体験に与える影響について

竹 岩 直 子	自他への攻撃性についての研究 ―自己愛傾向・レジリエンスの観点をふまえて―
西 野 陽 子	青年期の心理的支えの感覚と葛藤対処との関連性 ―解決方法の決定をめぐる―
山 口 昂 一	自閉症スペクトラム児における空間性の形成とその意義 ―事例の質的分析を通して―
山 本 恭 裕	思春期青少年へのしつけに対する認知が非行に与える影響
篠 田 亜 美	前思春期女子の内的体験
山 田 茜	思春期において「ネガティブなもの」と接する体験と自我機能について
小 杉 昌 之	大学生の風景構成法における道の行き先について ～SD 法による描かれた風景と描かれなかったイメージの比較～
浅 井 茉奈花	現代社会における「遊びの規範化」―相互浸透する「俗」と「遊」
梅 村 卓 摩	現代の大学生と留学経験 ―留学情報誌を通してみた就職との関係について―
大 前 宏 輔	アメリカの産学連携 ～リサーチパークを中心とした考察～
岡 部 志 功	ウェブコミュニケーションの儀礼性 ―２ちゃんねるを発端とする炎上に関する儀礼論的考察―
小 川 晃 生	移民へのまなざし ～E・トッドの仮説を通して～
柏 山 自 夢	競馬場で人は何を学ぶのか ―観客の世界―
門 松 愛	バングラデシュの保育と就学前教育 ―政府とNGOの協働関係から見えるもの―
金 子 杏 奈	日本における近年の出生率の動向とその要因
川 西 理 枝	学習指導要領改訂における政策形成過程 ―2008年改訂を事例として―
河 村 泰 文	学校選択制度に伴う学校の小規模化と行政支援
小 山 遼	日本の文化ナショナリズムと初等社会科教育に関する考察 ―小学校社会科の副読本を中心に―
佐々木 基 裕	エクセレンスをめぐる闘争：アメリカにおけるフレンチ・セオリーの受容条件
田 辺 友 佳	共働き家庭における育児の課題と展望 ―働く母親のインタビュー調査から―
徳 岡 碧	組織における人間の学習と成長
徳 永 まなか	中国の義務教育における労働科目の変容
中 野 徹	現代若者の生活満足度とライフスタイル
西牟田 恵理也	アメリカにおけるホームスクール教育の考察。
平 田 悠 樹	D. ピンク「モチベーション」論の検討 ―生涯学習への転用可能性
堀 井 義 家	企業経営者のリーダーシップスタイル ～その分類と現代への適用～
村 上 愛 実	日本の戦間期におけるモダンガール文化人
竹 下 靖 人	現代の男性性と「恋人探しコミュニティ」についての一考察
東 江 赳 欣	認定こども園制度における政策形成過程 ～調理室必置義務に焦点をあてて～
原 嶋 健 佑	深田久弥の登山思想
葛 尾 創	分権下の地方教育人事
篠 原 隆 久	日本の行刑図書館の発展と課題

執筆者紹介

執筆者紹介（執筆順）

杉 本 均	比較教育政策学講座 教授
中 島 悠 介	比較教育政策学講座 修士課程 1 回生
南 部 広 孝	比較教育政策学講座 准教授
渡 辺 雅 幸	比較教育政策学講座 修士課程 1 回生
やまだ ようこ	教育方法学講座 教授
村 上 幸 平	学進館 講師
子 安 増 生	教育認知心理学講座 教授
趙 卿 我	助教
桐 村 豪 文	日本学術振興会特別研究員 比較教育政策学講座 博士後期課程 3 回生
江 上 直 樹	比較教育政策学講座 博士後期課 2 回生
李 霞	比較教育政策学講座 博士後期課程 3 回生
工 藤 瞳	日本学術振興会特別研究員 比較教育政策学講座 博士後期課程 2 回生
田 村 徳 子	比較教育政策学講座 博士後期課程 1 回生
坂 井 祐 円	臨床教育学講座 博士後期課程 3 回生
奥 井 遼	臨床教育学講座 博士後期課程 3 回生
谷 垣 紀 子	心理臨床学講座 博士後期課程 3 回生
中 藤 信 哉	心理臨床学講座 博士後期課程 3 回生
田 中 崇 恵	心理臨床学講座 博士後期課程 2 回生
里 見 聡	心理臨床学講座 博士後期課程 1 回生
永 山 智 之	心理臨床学講座 博士後期課程 2 回生
井 芹 聖 文	心理臨床学講座 博士後期課程 1 回生
森 崎 志 麻	心理臨床学講座 博士後期課程 3 回生
堀 口 真 宏	心理臨床学講座 博士後期課程 2 回生
菱 田 一 仁	心理臨床学講座 博士後期課程 2 回生
田 中 久美子	臨床実践指導学講座 博士後期課程 3 回生
加 藤 のぞみ	臨床心理実践学講座 博士後期課程 2 回生
高 橋 紗也子	臨床心理実践学講座 博士後期課程 1 回生
李 芝 映	教育学講座 博士後期課程 1 回生
高 橋 菜穂子	日本学術振興会特別研究員 教育方法学講座 博士後期課程 2 回生
竹 内 一 真	教育方法学講座 博士後期課程 2 回生
大 下 卓 司	教育方法学講座 博士後期課程 2 回生
羽 山 裕 子	教育方法学講座 博士後期課程 1 回生
小 山 英 恵	日本学術振興会特別研究員 教育方法学講座 博士後期課程 2 回生
野 口 素 子	教育認知心理学講座 博士後期課程 3 回生
河 井 亨	日本学術振興会特別研究員 高等教育開発論講座 博士後期課程 2 回生

京都大学大学院教育学研究科紀要投稿規程

(1) 投稿資格

単著論文の場合、執筆者は、本研究科教員及び博士後期課程1年次以上の大学院生とし、院生については少なくとも指導教員1名の推薦のある者に限る。

上記の資格をもつ者が年度途中で身分を変更した場合にも、少なくとも前期に在籍すれば、投稿資格をもつ。ただし、身分変更を速やかに届けて、変更後にも紀要編集委員会と連絡が取れる状態にあることを条件とする。以上の条件を満たさない場合には、投稿資格を失う。

共著論文の場合、本研究科教員が第1著者となり、学内外の研究者（修士課程1年次以上の大学院学生を含む）を共著者とするものに限る。

(2) 内容

原稿の内容は未発表の学術論文とする。

(3) 使用言語

原則として自由。ただし、外国人留学生は日本語で投稿すること。

(4) 原稿枚数

A4用紙で1枚当たり「43字×38行」とし、教員および共著論文は25枚（本文24枚＋英文アブストラクト1枚）、院生論文は13枚（本文12枚＋英文アブストラクト1枚）を上限とします。外国語論文の枚数もこれに準じます。

(5) 投稿要領

投稿に際しては、執筆注意事項指定の書式に従い、原稿の他にコピーを2部添え、締切日までに指定された提出先に提出のこと。なおフロッピーディスク（またはCD-R）も合わせて提出すること。

また、英文タイトル及び200語程度の英文アブストラクトをつけること。

(6) 投稿・問い合わせ先

紀要編集委員会。

(7) 原稿の掲載の可否

原稿の掲載の可否については、別に定める審査基準に基づいて紀要編集委員会が審査・決定する。

(8) 著作権

本紀要に掲載された論文の著作権は本研究科に属する。

編集委員 稲垣恭子 角野善宏
明和政子 中池竜一

平成24年4月25日 印刷

平成24年4月27日 発行

発行人 京都大学大学院教育学研究科
代表者 辻本雅史

印刷所 株式会社 北斗プリント社
〒606-8540 京都市左京区下鴨高木町38-2
TEL (075) 791-6125

発行所 京都大学大学院教育学研究科
京都市左京区吉田本町
